

陸上クラブ紹介 No.8

長野市駅伝部

今回は、長野市駅伝部の紹介となりました。日頃、長野市陸協の諸先生方には大変お世話になっておりますので、まずはこの場をお借りしてお礼を述べさせていただきます。ありがとうございます。

さて、長野市駅伝部は、企業又は学校による単一クラブとは異なり、様々な職種の社会人を中心に大学生から中学生までの幅広いメンバー構成となっています。



当駅伝部出身で、現在も中央で活躍されている方として、中山竹通（愛知製鋼陸上部監督）、福島正（富士通陸上部長距離監督）、田幸寛史（中央大学駅伝監督）、高橋桂逸（愛三工業）、大久保貴志（愛知製鋼）などの方々がおります。（敬称略）
我々の目標の1つである長野県縦断駅伝では、過去8回優勝しており、1昨年、昨年と連覇しています。また、長野県市町村駅伝では、ダントツの強さを誇り、15回の開催のうち9回の優勝（6連覇中）をしています。

20年程前に県縦断駅伝で初優勝し、4連覇を成し遂げた時は、長野富士通さんの選手が主軸で1度目の全盛期でした。その後、参加地域に関するル-

ル改正等があり、10年程低迷が続きまして。
現在は、高野主将が実業団での経験を生かした練習メニュー作成と意識改革により、2度目の全盛期が訪れています。この状態を継続したいと思っておりますが、選手層の若返りが進んでいないのが、課題です。

駅伝部としての合同練習は、毎週水曜日の夕方6時半より競技場において、日曜日の午前中のロードを基本としています。練習への参加は自由（長野市民でなくてもOK）ですので、日頃練習に困っている学生、社会人が居ましたら、紹介して頂きたいと思っております。最後になりましたが、これからもご指導の程よろしくお願い致します。駅伝副部長 市川武

編集後記

- 日本陸連審判講習会（長野市若里）4月3日（日）
- 長野マラソン、車いすハーフ 4月17日（日）
- 県、春季 4月23日（土）24日（日） 松本市
- 市町村駅伝 5月8日（日）6連覇 松本市において
- 県、高校 5月27日（金）28日（土）29日（日）長野市
- 北信中学 6月5日（日）長野市
- 日本選手権 6月2日（木）3日（金）4日（土）5日（日）
- 北信越高校 6月17日（金）18日（土）19日（日）新潟市

平成17年度前期半ば、要覧行事日程表を眺めつつ、月日の早いのを光陰矢の如しと言うのであろうが、全ての競技審判等に出席しても、それぞれの大会の思い出、自分の役目、選手や関係器具のアクシデント発生、タイムテーブルの遅れ、思いもせぬ天候、まったなしの雨に濡れながらの選手の頑張りと、そして競技役員との協力、本当に大御苦勞様の五文字です。

今回、早川先生から引き継ぐことになった広報部長、思いもよらず私に指名を頂き、本心面喰らっている所です。しかし、そうは言っても皆様方の絶大なご指導、ご協力がなければうまく進行しないと思っております。私も極力努力する所存でありますれば、何卒宜しくご指導の程お願い申し上げますと同時に、今後の競技会がスムーズに良い記録が出る様に期待しつつ、まずは挨拶と致します。平成16年吉日（若松軍蔵）

SHINANO MATE
SHEATH BRAND SHIRT & SHORTS SET FOR MEN



ATHLETIC UNIFORM

株式会社 **しなのメイト**

〒389-0606 埴科郡坂城町大字上五明992-2
PHONE (0268) 81-1336
F A X (0268) 81-1337



題字の“動き”は長野市陸協三代目会長 山浦保氏の書で、山浦会長の頃、市陸協会報紙として何号か発行されていました。

発行所 長野市陸上競技協会
発行人 浦野義忠
編集人 若松軍蔵

2期目を迎えて

長野市陸上競技協会 会長 伊藤利博

2年前、「明るい活力のある、清潔な長野市陸協を目指して」を掲げて、会長の大役をお引き受けしたわけですが、2年間を振り返って見たとき、その目的をしっかりと果たして来たかという点では、自信を持って果たせたという事はいえません。しかしながら、大きな柱として掲げた、選手強化については、県縦断駅伝2連覇、市町村駅伝6連覇、山本晴美選手の日本選手権2連覇など、少しずつではありますが、その成果が見られるようになって来ています。驚澤長野市長の豊かな町作りの一環として行われているスポーツ選手の強化に力を入れる意気込みは、我々関係する者にとって大変嬉しく有難く思っています。行政サイドでリードしてくれているわけですから、我々競技団体はそれに答えるよう努力をしていかなければと思っています。また、ジュニア対策についても、昔活躍したOB選手

のクラブチームを結成して、日夜選手育成に尽力して下さる方々が出てきている現状を見た時、私が県陸協理事長時代、皆さんの理解と協力を得て始めた事業が、年々芽生えて来ており、大変嬉しく思います。

会報「動き」の発行も年4回定期的に発行されるようになり、長野市陸協内外の動きを会員の皆様にお届け出来るようになり、有難く思っています。特に思い出の写真などは、先輩諸氏の方々の一筆が、私達にとっては大変参考になることがあります。

研修旅行も計画していますが、まだ1回も実現されていません。今年こそはぜひ大勢の会員の皆様方の参加をいただき、実施して行きたいと考えております。

2期目も、長野市陸協の更なる発展のために努力していくつもりでありますので、何とぞご協力の程よろしく申し上げます。

新会員歓迎会

今年度、2名の審判員がB級審判を取得されて長野市陸協会員として入会されました。4月10日にささやかではありましたが、市営陸上競技場において歓迎会を開催しました。

牧内淳一さんは、16年度より長野商業高校に勤務
長野商業高等学校 牧内淳一

この度、長野市陸上競技協会の会員に仲間入りさせていただくことになりました。

おそらくは、自分には縁のない世界だと思っていたところが、昨年、高校の陸上部の顧問になり、更には審判員の資格を取得することになり、新しいことばかりの1年間を送りました。その中で、シーズン中は、各種大会が毎週のように開催され、実に多くの方々それぞれに関わって大会が運営されていることを知りました。

これまで陸上とは全く縁もゆかりもなかったのに、すべてが初めての経験で、まだまだわからないことばかりです。協会の皆さんや選手の皆さんのご迷惑にならぬよう努めていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしく申し上げます。

され、陸上部顧問として指導されています。
町田創史さんは、今年度より文大長野高校に新規採用として勤務されています。新進気鋭のお二人です。どうぞ、若い審判員を激励しながら暖かく見守っていただきたいと思います。

文大付属長野高等学校 町田創史

この度、晴れて審判員の資格を取得し、先生方と一緒に競技に携わることができるようになりました。

高校時代、学生時代を通じ、陸上競技から多くのことを学んできました。時に泣き、時に笑いもしましたが、今の自分があるのは陸上競技があったからだと思います。今まで多くの諸先生方から練習や競技に関するアドバイスを頂き、自分なりの競技スタイルを磨いてきました。

今度は、私自身が審判員として競技に携わることで、高校生アスリートや多くの人の技術や記録の向上に役立ちたいと思っています。また、競技に真剣に取り組んでいるアスリート達から多くのことを学び、これを、今後の自分に繋げたいと思います。

自分が持っているもの、経験してきたことを何かしらに使いたい。そんな思いとやっぱり陸上が好きである。この気持ちを持ってこれから頑張っていきたいと思っています。



市町村駅伝 6 連覇達成

長野市駅伝部監督 田中哲広

この優勝を自信に、県縦断駅伝での3連覇、また、来年の市町村7連覇目指して頑張りますので、市陸協の皆様方を始めとする関係者の方々に選手スタッフ一同感謝申し上げ挨拶とさせていただきます。

去る5月8日に第15回市町村対抗駅伝競走大会が、晴天のなか盛大に行われ、今回はコースの変更に伴い、社会人区間が1区間増え、9区間42.195kmで競われました。

我長野チームは、6年連続の優勝を目指し、昨秋の県縦断駅伝優勝後も、この市町村駅伝連覇に向けて日々練習に取り組んで来ましたが、特に今年の冬は雪が多く、練習等に苦労しました。

そうした中でも選手は、自ら時間前にコースの雪かきをし、雪の降りしきる中でも練習日には沢山の選手が集まり、選手個々の競技者としての意識の高さが、今の長野市チームの強さであり、また、選手兼任でコーチを務めている高野が毎月の練習メニューを作成し、自らが走りながら、若い選手の育成に努めてくれていることも大きな力となっています。

大会の話に戻りますが、今大会に限っては、今までにないアクシデントや故障者が続出し、補欠選手全員を入れ替えるという非常事態に見舞われましたが、選手はチームの勝利を信じ、タスキの重さを肌で感じながら気力で勝ち取ったように思います。

秋の県縦断駅伝に向けて、課題も沢山ありますが、若い選手も確実に育ち、収穫のあった大会でもありました。



長野市駅伝部 西塔欣史

松本市で5月8日(日)、第15回長野市町村対抗駅伝競走大会が行われました。今年の市町村駅伝で長野市チームは、故障等で補欠を全員使うというアクシデントがありましたが、総合力で9回目の優勝を果たし、6連覇を達成することができました。

私は信州大学陸上競技部に所属していますが、週2~3回の長野市駅伝部の練習会、要するに長野市練に参加させてもらっています。長野市練では中学生から社会人までの違った年代層の人たちが練習しており、社会人には実業団だった人や学生時代に実績のある人

から社会人になってから陸上競技を始めた人もいます。こういった違った年代の人たちと一緒に練習できる場があることで、大学だけでは得ることのできない知識や経験をすることができ、走るだけでなく様々な面で大きく成長する過程で役立ち、陸上競技と人々との間を深める上で非常に良いことだし、これからもこういう関係が続いてほしいと思っています。また、こういった関係が、長野市チームを優勝に導いてくれる一番の理由ではないかと考えています。しかし、こういう関係も市町村駅伝や長野県縦断駅伝という地域で争う大会があつてこそだと思います。

ここ最近では東日本縦断駅伝競走大会が無くなったせいもあり、本格的に社会人で陸上を続けていく人たちが減ったように思えます。このような地域で競う大会をこれからも継続し、発展していくことを期待しています。



思い出の写真シリーズ

第 7 回

長野の女子の競技力はすばらしかった

長野市陸上競技協会 副会長 藤本勝彦

おめでとう！2連覇。全国都道府県対抗男子駅伝競争大会で長野県チームが去年は5秒差、今年は2秒差の劇的な勝利。このところ駅伝など男子選手の活躍が目立っておりますが、長野の女子選手は苦戦しております。

しかし、この1枚の写真が語るものは、陸上競技で国体において女子総合得点(皇后杯)優勝であり、2連覇がありました。長野の女子は強かったのです！！

27年前の昭和52年、青森国体で優勝の表彰状を受章の時に、正面スタンド中央で万歳をしている人がありました。まぎれもない当時の県知事、西澤権一郎さんでした。やまびこ国体前年の秋季大会で女子種目優勝は陸上競技だけだったので、知事さん大喜びで表彰式終了後、記念写真をと、岩間近県総監督もご一緒に記念のものです。

故高山先生の持っている賞状は、天皇杯5位のもので。成績内容で、優勝は、一般 走幅跳

源純江(長野スズキ)6m23、高校 走高跳 上原久美恵(岡谷東)1m77。(高校男子も1位でアベック優勝でした。)第2位は共通4×100mR 47秒51、他5種目もありました。

翌年の昭和53年、やまびこ国体では、女子は、100mHで茂木多美江(小諸高教)12秒63(日本新)走幅跳で源純江(長野スズキ)6m28大会新で2連覇、共通4×100mR(長坂、坪田、渡辺、山本)47秒25 大会新で3種目優勝、第2位以下6種目で女子総合得点40.5点で皇后杯2連覇の大偉業を樹立しました。女子の得点に男子の得点を加えて天皇杯は初の準優勝でした。当時は源、茂木の2人の日本記録保持者がいて、「日本の星」になるのを言葉に頑張りました。まさに「レディーファースト」でした。

やり投げで山本晴美さんが大活躍中です。女子も男子も若きアスリートの皆さん頑張りました。更なる未知の3連覇へ。大いに期待し、応援したいと思います。



◆◆◆◆◆ 第1回車いすマラソンが終わって ◆◆◆◆◆

長野市陸上競技協会 会長 伊藤利博

長野南運動公園のゴール地点に、50名の選手が無事ゴールして、全てが終了した合図を耳にした時、万感胸にせまるものがありました。考えてみれば、準備期間は半年なかったわけですが、その責任を果たすことのできた喜び、嬉しさを胸を撫で下ろすことができました。

私に陸協の車いすマラソン担当をやれということでしたが、車いすマラソンは、見た事もなく、そういう段階からスタートしたわけですから、さて何かから手を付けたら良いかということもわからず、手探り

状態でした。10月末、大分で行われた国際車いすマラソンへ研修に行ってきたから、ようやく準備に取りかかることができました。初めてのことで、いろいろなことを想定して準備をしていきました。取り越し苦労も沢山ありました。

成功の要因は、何といても陸協審判員が一致団結して協力して下さったことが、成功につながったと思います。この成功が来年へとつながって行くと思います。今後、今年の反省事項を生かし、第2回大会へ向かって準備を進めていこうと思っています。

栄章関係

長野市陸協より平成16年度
3名が推薦されました

長野陸協関係では、功労章に臼田昭次様
長野陸協では、永年の審判、実業団連盟では、事務局長として、長野市陸協では、小学生のスポーツ教室等でご尽力をいただきました。

同じく勲功章に山本晴美様
日本陸上競技選手権大会、全日本実業団陸上競技選手権大会、やり投げ優勝などの功績

長野市陸協関係では、長野市体育協会スポーツ振興功績者功労章に鶴野章吉様
長野市陸協施設用器具部長、又理事として永年ご尽力いただきました。

長野陸協関係は、4月24日に、長野市体育協会関係は、6月1日に表彰されました。
おめでとうございます。

平成17年度 長野市陸協競技日程

| | | |
|----------------------------|-----------------------------|--------------------------------|
| 4/ 3(日) 日本陸連審判講習会(長野市若里) | 7/16(土) | |
| 17(日) 第7回長野マラソン・第1回車いすマラソン | | 第51回長野県中学通信陸上競技大会 |
| 29(金) 信大・名大対校戦 | 17(日) | |
| 30(土) 第7回北信地区記録会 | 8/20(土) | |
| 5/ 1(日) 第90回長野市内高校春季陸上大会 | | 第47回北信陸上選手権 |
| 13(金) | 21(日) | |
| 第114回北信高校陸上競技大会 | 9/11(日) 第9回長野マスターズ長野市大会 | |
| 15(日) | 16(金) | |
| 22(日) 第36回長野市身障者大会 | | 第115回北信高校新人陸上競技大会 |
| 27(金) | 18(日) | |
| 第50回長野県高校陸上競技大会 | 23(金) 第33回長野県中学新人陸上東北信大会 | |
| 29(日) | 10/ 2(日) 第19回飯綱マラソン | |
| 6/ 4(土) 第22回北信小学生大会 | 8(土) 第8回北信地区記録会 | |
| 5(日) 第44回北信中学陸上競技大会 | 16(土) 2005キッズRAN | |
| 11(土) 第14回長野地区障害者スポーツ大会 | 22(土) 第91回長野市内高校秋季陸上大会 | |
| 18(土) 第12回中学混成大会 | 23(日) 第32回NAGANOスポーツフェスティバル | |
| 7/ 9(土) | | ※9/19~11/4 補助競技場公認更新整備工事の為休場 |
| 第58回長野県陸上競技選手権 | | ※10/24~12/31 補助競技場公認更新整備工事の為休場 |
| 10(日) | | |

会議日程

| | |
|---------------|----------|
| 4/ 9(土) | 新会員歓迎会 |
| 6/23(木) | 第1回理事会 |
| 8/18(木) | 第2回理事会 |
| 11/10(木) | 県縦断駅伝社行会 |
| 12/ 1(木) | 祝勝会 忘年会 |
| 2/18(土) 19(日) | 研修旅行 |
| 2/23(木) | 第3回理事会 |
| 3/12(日) | 総会 |

◆◆◆◆◆ 第1回小学生駅伝を省り見て ◆◆◆◆◆

小学生駅伝大会監督 古田新造

あったが、積極的に練習に励んだ。
一般の部が5連覇した時だけに、小学生の部が、この大長野市の面目に掛けても、少子化と言っておられず、頑張るしかない、大会前日の土曜日まで練習に励んだ。

大会当日は、朝から快晴に恵まれ、一般の選手の集まるところに同席でき、子供たちも共に気も落ち着き、競技に望むことができた。1区女子の佐々木文華選手も波に乗り、トップで競技場に戻ってきて、小山選手へとタスキを渡すことができ、第1関門通過。4名の選手が一生懸命タスキを繋ぎ、アンカー出口君は5年生ではあったが、2位のタイムでゴールすることができ、次回に望みをつなぐことができた。

平成17年度の市町村駅伝大会に、小学生の部を新設する話を耳にしたのが、3月も始めのこと。浦野理事長と募集方法について相談。まず学校長宛、地元の新聞に掲載の依頼。記録会に集まった子供たちは10名ほどであった。

うち半数は、陸上教室に参加していた児童であったが、すばやく、土曜日の教室の日と、竹内コーチが行っていた地元犀川河川敷コースをお願いしての不足分の練習日に、平日の夕方を練習の場所をお願いして指導に当たって頂いた。

幸いにも、川中島地区にエース格の女子、佐々木文華さん、玉井なるみさんがいて、この2人に頑張ってもらい、練習することができた。また、男子も、全員5年生ながら、女子に負けじと、残り少ない日数では

◆◆◆◆◆ 第1回小学生駅伝に出場して ◆◆◆◆◆

佐々木文華

4月18日に、選考会がありました。そこで選ばれ、1ヶ月間の練習が始まりました。メンバーは、私、小山くん、玉井さん、出口くん、あやかさん、海沼くんの6人です。古田さんと、竹内コーチと共に毎日練習にはげみました。

走る区間は、1区佐々木、2区小山くん、3区玉井さん、4区出口くん而走ることになりました。

スタート前は、きん張っていました。兄が近くにいてくれたので安心して、スタート出来ました。最初は、

すごく速いペースだったので、びっくりしました。サブトラックに入って、体と心が落ちついたので、前の人をおいぬいて1位になりました。2区の小山くんに来るだけ、たすきを早くわたしたかったので、最後までがんばって走りました。

4人で力を合わせて走り、1本のたすきをつなげて良かったです。かんとか、コーチと6人でとった2位は、みんなの心が合わさり、1つになってとれた2位なので、すごくうれしいです。

◆◆◆◆◆ 北京駅伝に参加して ◆◆◆◆◆

長野市陸上競技協会 副理事長 北島正孝

去る4月10日、北京駅伝に参加させていただき、伊藤会長始め、皆様方には、物心両面にわたり、お力をいただきまして、ありがとうございました。おかげさまで友好男子組28チーム中5位に入賞することが出来ました。

8日午後2時前には、北京空港に着き、石家庄市の通訳、王さんが出迎えてくださいました。色々何かがおきそうな大会？(1昨年は出発日間近、サーズで参加断念。昨年は長野マラソンと重なる。)なので、心していましたが、時期的に悪く、教科書問題、靖国神社・・・等、中国が日増しに騒がしくなってくる、いやなムードを感じていました。

表敬訪問では、日の丸をつけたり、目立った行動を自粛するよう、会話の中で出てくる大きな声での会話も気にしなくてはいけない雰囲気でした。そんな中、選手、スタッフは安全に気をくばり、よくやってくれました。

大会当日は、まずまずの天候。1区山田選手のスタート時に風が強かったくらいでした。200を越す予

ームのスタート、短距離走です。残り1K、残っている力を全部出しきってのスパート。3位で2区西塔選手へ。レースの流れを作る大事な2区。入れ替わりが激しい。5位で3区本田選手へ。4区塩原選手、5区キャプテン高野選手に。ここで始めて、観衆から日本長野市チームに拍手がおくられた気がしました。6区アンカー高橋選手は、快調の走り。足も良くのびて、リズムに乗っている・・・が、レースは怖いもの。残り3Kで足が止まる。どうした！足にアクシデント。声をかける。なんとかジョック出来そうと言う。思い出に残るゴールになりました。

選手、市川さん、監督、山田コーチ、土川副団長、本当にご苦労様でした。また、日本に対して中国の治安の乱れている中での大会となり、ご心配していただきました会長始め皆様方に心から感謝致します。1回目は客として、2回目は友人としてやっていきたい。友好の気持ちを持ちたいと思います。最後にはじめての賞金、嬉しいものでありました。